

04

理想の目を描く

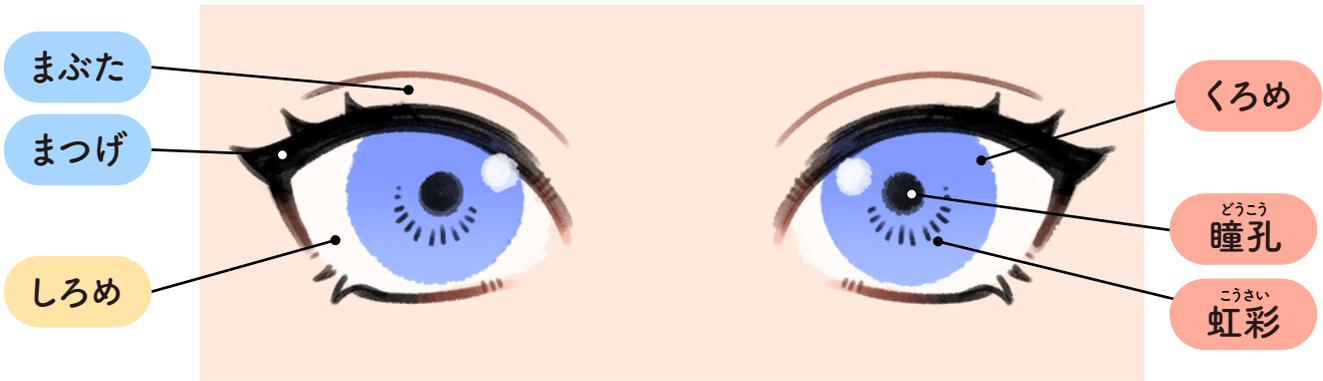


キホンの目を描こう!

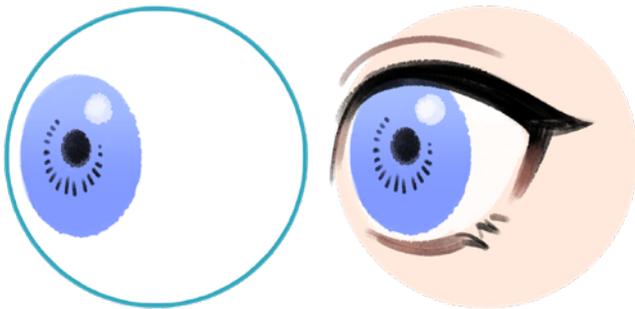
04 理想の目を描く

目の構造を知る

イラストを描くまえに、実際の目がどんなふうになっているか見てみましょう。

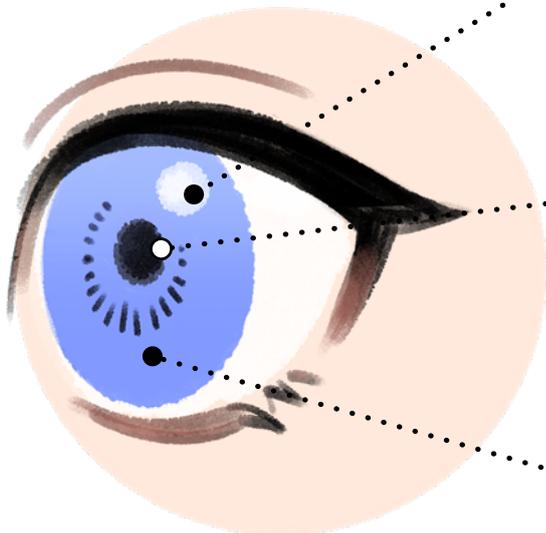


※まぶたとまつげは目の上下にあります。



目は左のイラストのように球体になっているから、描くときは「目はまるいもの」ということを覚えておこう!

目のはたらきを知る



角膜(かくまく)

とうめいなレンズとして、光を集める役割(やくわり)をもっています。虹彩や瞳孔は角膜より奥にあります。

瞳孔(どうこう)

くろめのまんなかのいちばん黒い部分です。くろめを通して光をさらに目の奥に届ける役割(やくわり)があります。虹彩が光の量を調節するために伸びたり縮んだりすることにより、瞳孔は暗いところでは大きく、明るいところでは小さく見えます。

虹彩(こうさい)

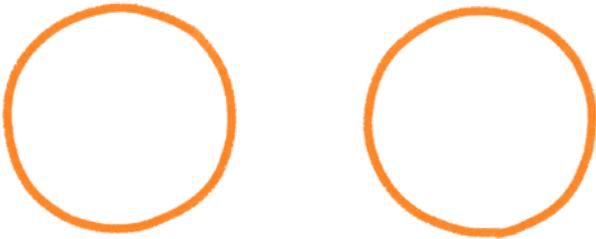
目のなかにとりこむ光の量を調節する部分です。虹彩は、個人や国によっても色にちがいがあ、青色や緑色、灰色のひともいます。

キホンの目を描こう!

目を描く

実際の目のパーツやしくみがわかってきたら、目を描いてみましょう。描きやすい目や自分らしい目の表現を見つけられるまで、たくさんの目を描いてみてください。

1



顔のなかにまるく目のアタリをとります。左右の目の位置がずれないように注意しましょう。

2



まぶたを描きます。今回は、上まぶたのカーブを強めに、下まぶたはひかえめに描きました。

3



顔のなかにまるく目のアタリをとります。左右の目の位置がずれないように注意しましょう。

4



まぶたの線にそってまつ毛をいれていきます。おうぎ型に外に開かれていくイメージです。

5



くろめのなかのパーツを描いていきます。瞳孔や虹彩など、実際の目がどうなっているか参考にしながら描いていきましょう。

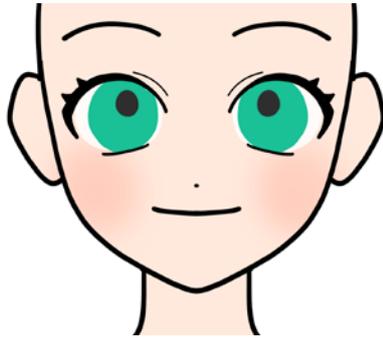
6



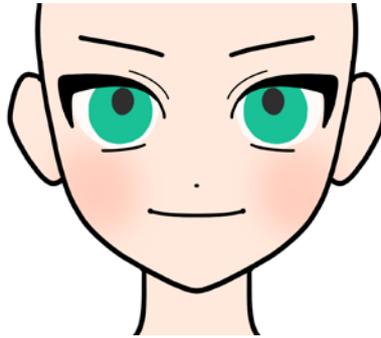
角膜により、光が当たるときらきらと反射します。光の表現をいれると、いきいきとした目の表現ができます。

ふつうの目・つり目・たれ目を描こう!

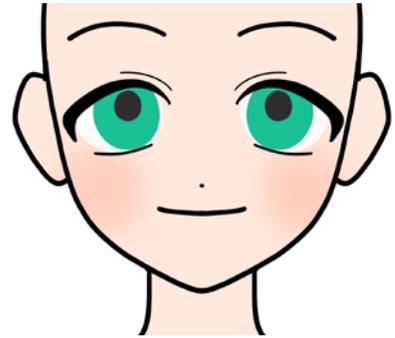
04 理想の目を描く



ふつう



つり目

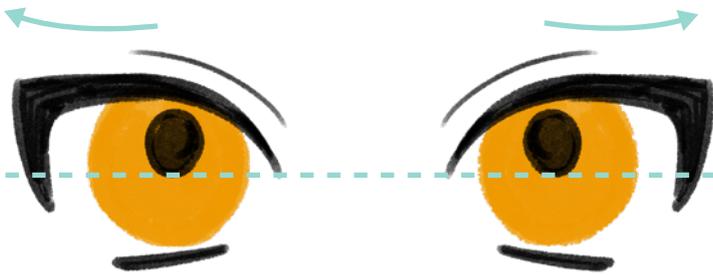


たれ目

「つり目」「たれ目」といった、目のかたちを表す言葉を知っていますか?

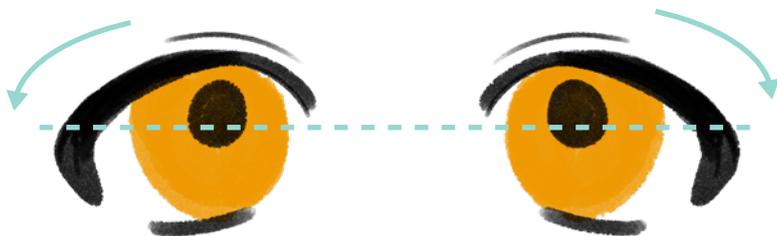
目のはたらきや仕組みは人によって変わりませんが、
目の大きさや形や色には個性があり、全く同じ目は存在しません。

今回は目の形をおおまかにふつう・つり目・たれ目として、それぞれの特徴を説明していきます。



① つり目

つり目とは、目がしらよりも、目じりがつり上がっている目のことです。おとなっぽく、すっきりとした印象をもたせることができます。



② たれ目

たれ目とは、目がしらよりも、目じりがたれ下がっている目のことです。おっとりとした、やさしげな印象をもたせることができます。



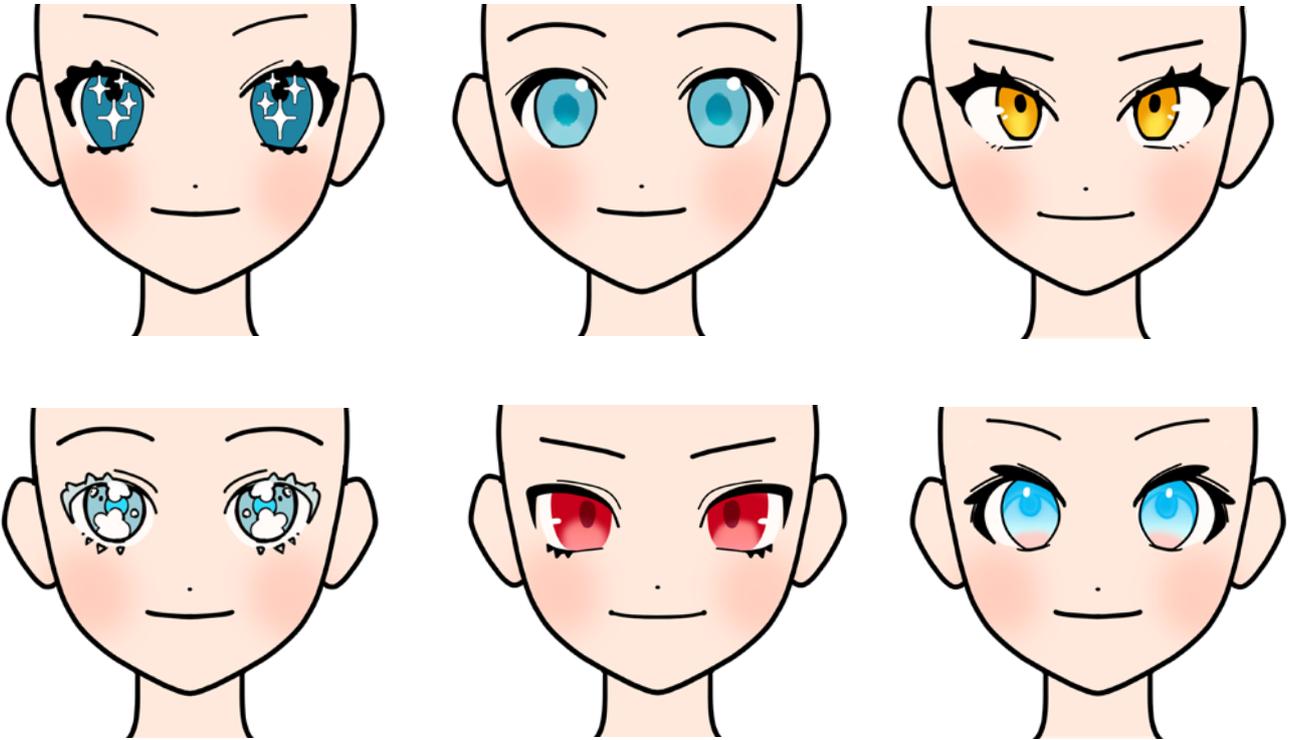
描き方に困ったら、目の基準になる線をひいて、
目がしらから目じりに向かってまぶたを描いてみよう!



キャラクターの個性を目で表現しよう!

04 理想の目を描く

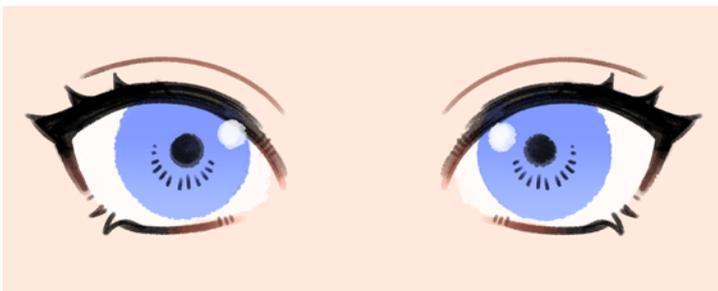
形・色・大きさを変えて目を描く



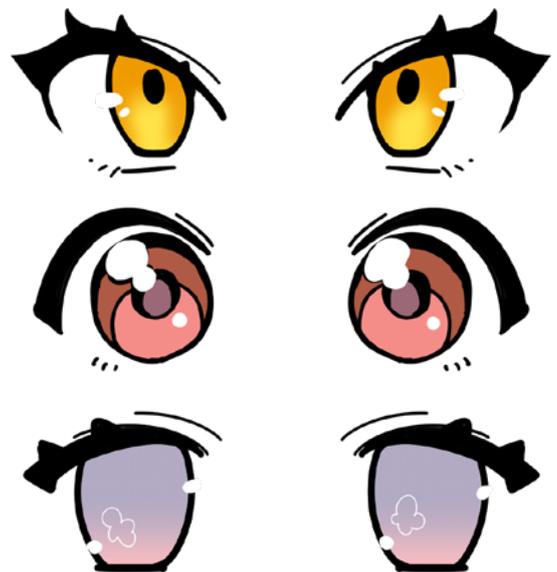
上のイラストの目に注目してください。
それぞれどのような特徴があるでしょうか？
また、それぞれの顔立ちからどのような印象
を受けましたか？

目の形、色、線の太さなどが違うと、目の
印象だけでなく、顔の印象が違って見えま
せんか？

このように、キャラクターの個性や特徴を、
目で表現することができます。

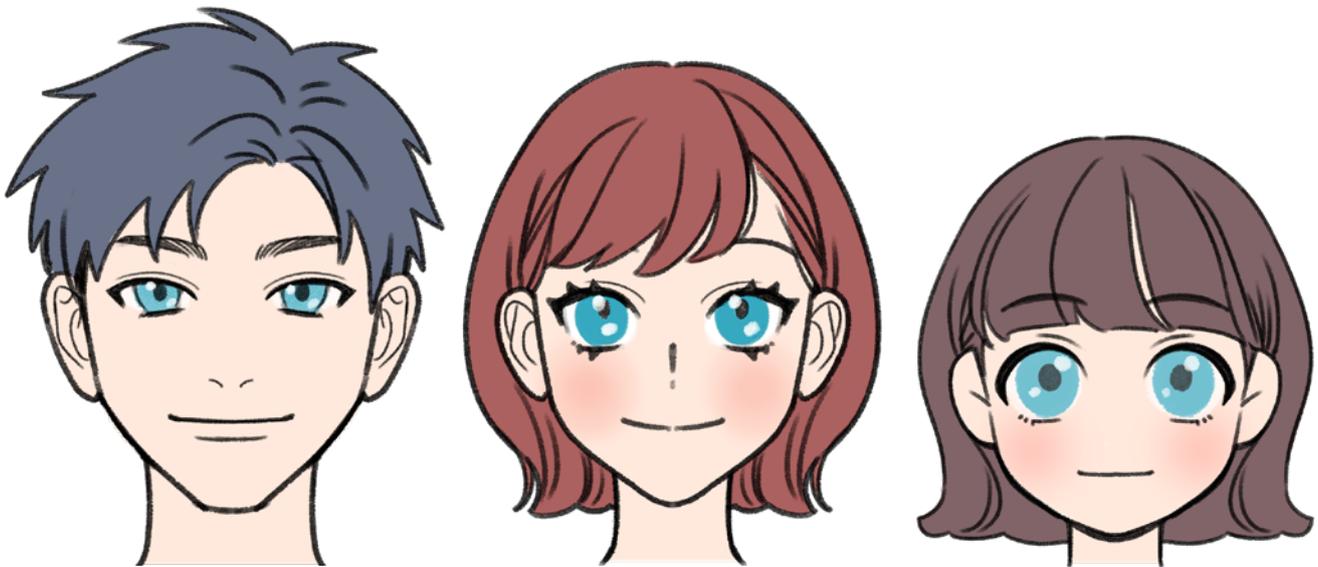


基本的な目のしくみや構造は変えずに、形や
色、線でさまざまな目を描いてみましょう。
自分のイラストにあった表現を見つけることが
このワークでの目標です。



年れいや性別で目を描き分けよう!

04 理想の目を描く



おとな、子ども、女性、男性など、年れいや性別でも目の描き方を変えてみましょう。それぞれの目にどんな違いがあるか確かめてみましょう。



① 女性らしい目

女性はメイクをしていることが多いので、男性よりも少しパーツを大きめに描くと、女性らしさが表現しやすいです。まつ毛をカールさせたり、目もとに色をのせたりすることで、メイクをした女性の表現ができます。



② 男性らしい目

男性は、女性よりもパーツはシンプルにしてみましょう。また、女性よりゆるいカーブを意識(いしき)すると、男性らしい目もとが表現できます。



③ こどもの目

こどもの目は、まるくデフォルメしたり、くろめを大きく描いてみたりすると、幼さを表現しやすいです。また、目そのものを大きく描くことも効果的(こうかてき)です。